

江戸時代は、農村部にも神仏への信仰が浸透し、靈験あらたかな神社参拝のため、旅をする人々も増加していきました。街道沿いには、並木や道標等が整備されていたものの、目的地が長距離の遠方ともなると、やはり案内人が必要でした。

川島小左衛門は、江戸時代に出羽三山（山形県の月山・湯殿山・羽黒山）信仰の現地までの道案内として活躍したかすみがうら市下軽部の人物です。霞ヶ浦周辺の出羽三山供養塔に名を連ね、多くの人々を出羽三山へ導きました。出羽三山信仰は、茨城県では江戸時代前期から盛んになり、明治時代に至るまで行われた民間信仰です。川島小左衛門は、信仰文化を支えた人物であり、その活動は村を超え周辺に広がりました。

今回の展覧会は、江戸時代の旅と信仰文化、茨城の出羽三山信仰と川島小左衛門が果たした役割などを紹介いたします。

記念講演会

『出羽三山信仰と川島小左衛門』

令和5年4月30日(日) 13:30~15:00
 かすみがうら市歴史博物館研修施設
 (旧歩崎公園ビジターセンター 研修室)
 当館 館長(学芸員) 千葉 隆司

入館料 一般 220円
 小中学生 110円

開館時間 9:00~16:30

休館日 月曜休館
 (祝日の場合は翌日)

展覧会のお問い合わせ

かすみがうら市歴史博物館
 〒300-0214
 茨城県かすみがうら市坂 1029-1
 TEL 029-896-0017



令和4年度企画展Ⅱ

出羽三山と川島小左衛門
 江戸時代の旅と信仰文化

令和5年 3/18(土) ▶ 5/7(日)

会場 かすみがうら市歴史博物館 特別展示室

